

	【放送日時】	2018年6月24日(日) 午後1時50分～午後3時 <総合>
	【タイトル】	「潜伏キリシタンの歴史 世界遺産へ」
	【放送番組】	■新日本紀行「十字架の見える海 ～天草西海岸～」(1979年9月12日 総合 29分20秒) ■国宝への旅「クルスの堂は七色の輝き-長崎・大浦天主堂-」(1986年7月17日 総合 24分 短縮)
	【出演】	塚本晋也(映画監督、俳優)、林一馬(長崎総合科学大学名誉教授)
	【内容】	5月初め「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」について、ユネスコの諮問機関、国際記念物遺跡会議(イコモス)が「世界遺産にふさわしい」と勧告。バーレーンで開かれる世界遺産委員会(6月24日～7月4日)で、世界文化遺産に登録される見通しとなった。今回は、「潜伏キリシタン関連遺産」から特徴的な2つの構成資産を取り上げる。 日本の伝統的な宗教や社会と共生しながら独自の形で信仰を続けた天草の集落、潜伏の歴史に終わりを告げる舞台となった長崎の大浦天主堂取材した番組を紹介。キリスト教が禁じられた時代に、厳しい弾圧を受けながらも、信仰を守り抜いたキリシタンの歴史を見つめる。